

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 11 - 3

事業分類		<input type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input checked="" type="checkbox"/> 必需		公的関与 1		作成日 27年 4月 28日				
事務事業名 都市計画事務				シート作成部署						
総合計画上の位置付け	基本施策	1 安全・安心なまち		課名	建設課		係名 都市計画係			
		1-2 住みやすいまちをつくる			シート作成者					
	施策	1-2-1 市街地・居住環境の整備		予算費目	会計 一般					
					款 8					
主要施策	①居住環境の総合的整備		項 4							
			目 1							
個別計画名										
住民との関わり		その他								
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）		目的（どういう状態にしたいのか）							
	東員町		土地利用や都市施設などを適切に定めることで、都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、計画的なまちづくりを推進する。							
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		都市マスタープランの推進を図り、計画的な都市整備を図る。								
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度 ~ 平成 年度（ 年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし								
根拠法令・要綱等		都市計画法								
		平成25年度（決算）		平成26年度（決算）		平成27年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		2,998		3,060		9,983				
財源内訳	国庫支出金		0		0		0			
	県支出金		28		26		36			
	地方債		0		0		0			
	その他特定財源		0		0		0			
一般財源		0		64		6,977				
直接事業費（千円）A		28		90		7,013				
人件費（千円）B		2,970		2,970		2,970				
内訳	一般職員（人・千円）		0.45 人 2,970		0.45 人 2,970		0.45 人 2,970			
	臨時職員（人・千円）		人 0		人 0		人 0			
成果指標	成果指標名		単位		26年度		27年度		28年度	
					目標		実績		（目標）	
	①									
	②									
③										
説明		都市計画事務は、長期的な視点から町の土地利用を計画的に進めるものであり、単年度の目標設定は困難なため								

事業名 都市計画事務				シート作成課		建設課		
一次評価者		建設課長		二次評価者		建設部長		
評価項目の説明	チェック項目				一次	二次	一次の評価又は説明	
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	都市マスタープランの整備方針に沿った都市整備を図るため必要です。
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	計画的なまちづくり・土地利用の推進ができます。
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	都市計画決定は、都市基盤施設の円滑な整備に貢献しています。
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	まとまりのあるまちづくりに都市計画は重要な役割を持ちます。
	本事務事業の実施適切性の説明							
本町の都市計画の基礎となるものであり、マスタープランの推進が必要です。								
一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	4	^⑧ B	^⑧ A	
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大		
今後の改革・改善目標	都市マスタープランの推進を図るため、区域区分及び長期間事業化していない街路等の見直しを検討します。また、新たな「まちづくり」が効果的・効率的に行える様、都市計画法等の規制緩和を国等関係機関に働きかけます。							
二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	4	^⑧ B	^⑧ A	
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大		
コメント	計画的な土地利用を推進するため都市計画事務は重要な役割を果たしています。時代の変化を適切にとらえ東員町のまちづくりに即応した対応が必要と考えます。							
二次評価に対する課の考え方								
参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1 現在の手段を継続する				